


タイトル 般若経を中心とする初期大乘仏教の研究				
分野	キーワード	① 大乘仏教	② インド仏教	
人文学				
研究者氏名: 渡辺 章悟 (所属: 文学部インド哲学科)		[お問い合わせ先] TEL: 03-3945-7357 メールアドレス: shwatanabe@toyo.jp		

**【概要】**  
現代の世界に広がる大乘仏教の起源と展開を歴史的に解明する解明する。

**【研究内容】**  
大乘仏教は紀元前後に北インドを中心として起こった仏教革新運動である。その経緯については経典の記述と金石・碑文などの資料から考察されてきたが、近年ガンダーラ(パキスタン、アフガニスタン)を中心として多くのサンスクリット仏教写本が発見されている。それに伴い、この宗教運動が従来考えられてきた起源よりも、もっとさかのぼることがわかってきた。また、その実態も経典の記述を丹念に読み解くことにより、従前の仏教から次第に変化してきたようすが明らかになりつつある。特に、悟りをもたらす智慧の展開、悟りに至る階梯を示す修行道、従来の教団に属する修行者と、新たな大乘の思想を持った修行者の関係などを、写本を含む文献、碑文、現地調査などを通じて、より具体的に大乘仏教運動の実態を描くことを予定している。ただし、この研究は数年にわたる長期間の研究が必要であり、その成果は断片的に発表することになるだろう。

**【実用化・活用が見込まれる分野・対象業種等】**  
出版業界。仏教界。

**【関連特許】(特許名称・出願番号等)**